計画コンセプト

■施設計画コンセプト

世界遺産を擁する古都奈良にふさわしい観光・交流拠点

計画方針

◎ 歴史・観光の視点-平城京の史跡・歴史地区との接続拠点
◎ まちづくりの視点-奈良の都市ブランドの向上
◎ グローバルな視点-国際コンベンション施設

都市・まちづくり・国際的視点　※1
c2017 ZENRIN CO.,LTD. (Z09KA第039号)

■配置・平面計画コンセプト

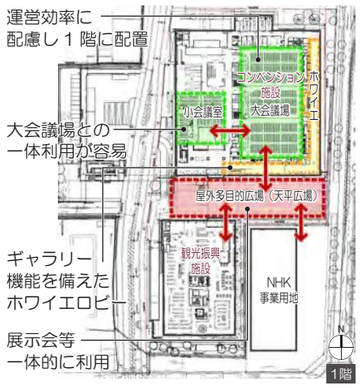
各機能が融合した魅力的な集客・賑わい拠点

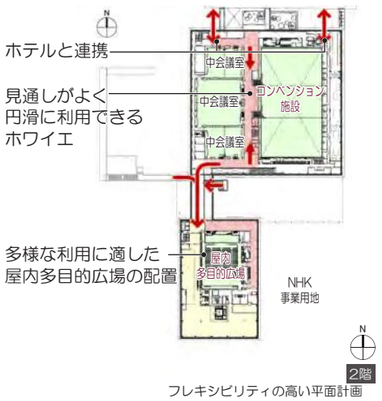
(1) 使いやすく管理しやすい機能配置
◎ コンベンション施設は連携を考慮しホテル側に配置
◎ 観光振興施設は人通りの多い三条通り側に配置
◎ 敷地中央に多様な賑わいを創出する「天平広場」を配置

(2) フレキシビリティの高いコンベンション施設
◎ 大会議場と小会議室の一体利用
◎ 中会議室とホテルとの連携利用

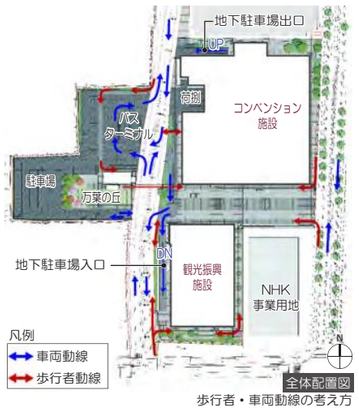
(3) 歩行者・車両動線の安全性・利便性向上
◎ 安全性・利便性向上のため、南北道路を新設
◎ 東西敷地をブリッジで接続

全体をつなぐ配置計画





フレキシビリティの高い平面計画



歩行者・車両動線の考え方

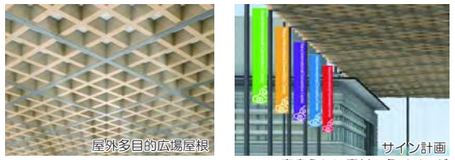
■景観計画コンセプト

奈良らしさを体現する、歴史を未来につなぐ景観計画

(1) 天平建築をデザインモチーフとした形態
◎ 軒の水平線を強調したスカイライン
◎ 東大寺正倉院（校倉造り）を想起させる外壁
◎ 寺社の回廊を想起させる列柱（丸柱）

計画外壁と列柱(丸柱)　校倉造り ※2　奈良の寺社（東大寺正倉院）※3

(2) 奈良らしさを代表する素材・色等の使用
◎ 奈良県産材の木材
◎ 鉄骨と集成材のハイブリット格子梁
◎ 天平文化の色彩を新たなイメージで表現

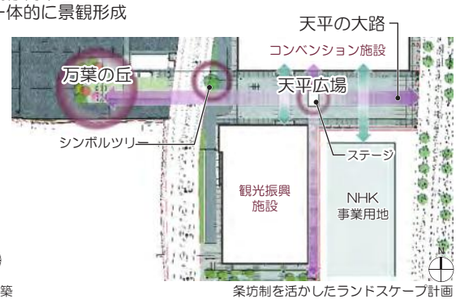


奈良らしい素材・色イメージ

(3) 各機能をつなぐランドスケープ計画
◎ 敷地を物理的につなぐ「天平の大路」
◎ 敷地を視覚的につなぐ「万葉の丘」
◎ 在来種を中心とした緑の景観軸を構築

屋外多目的広場（天平広場）イメージ

景観軸の構築



条坊制を活かしたランドスケープ計画

(4) 屋上の景観に配慮
◎ 大会議場屋上を緑化
◎ 主要な屋上機械置場上部に目隠しを設置

東側市道よりコンベンション施設を臨む

新設道路より観光振興施設を臨む

※1～3　画像・写真提供：（株）大林組